様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日 2025 年　1 月　15 日

１．職名・氏名　助教・服部創紀

２．学位　　学位　博士　、専門分野　理学　、授与機関　東京大学、授与年　2016

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 恐竜学（２）、実践恐竜学（２）、古脊椎動物学実習（２）、生物科学（２）、導入ゼミ（２） 主に 1～3 年次
②　内容・ねらい 福井県の象徴的な存在である「恐竜」を題材とした、 自然科学、特に古生物学に対する関心・理解の促進
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 長年にわたる発掘調査を行っている県としての利点を生かし、 博物館や発掘調査地等のフィールドを活用した講義・実習内容となるよう努める 【フィールドワーク等　2 件】
(2)その他の教育活動
内容 ・大学院生向け講義（古生物学演習 I，II および生物進化学）への参加 ・県立恐竜博物館、放送大学福井キャンパス、徳島県立博物館等における 一般向け講座の講師 ・福井駅西口恐竜コンテンツ、福井県立恐竜博物館 2025 年度特別展等の企画・監修

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

1. グレゴリー・ポール翼竜事典（共著・翻訳）．2024．共立出版．
   担当部分：翼竜事典（真翼指竜類以降）
2. グレゴリー・ポール海竜事典（共著・**監訳**）．2024．共立出版．
   担当部分：海竜概説（海生爬虫類時代の後～活動性、中生代の海生爬虫類の管理，保全，消費～グループおよび種の解説について）

【2 本】

②学術論文（査読あり）

1. Duangsuda Chokchaloemwong, Soki Hattori, Hirokazu Yukawa, Masateru Shibata, Wilailuck Naksri. 2024/12. A new ornithomimosaurian material from the Khok Kruat Formation Lower Cretaceous of Thailand. Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum 23: 3–9.

【1 本】

③その他論文（査読なし）

【0 本】

④学会発表等

1. 今井拓哉・服部創紀・河部壮一郎・柴田正輝・東洋一．2024．手取層群北谷層から産出した，Paraves の前肢骨化石．日本古生物学会 2024 年年会予稿集：13.
2. 宮田和周・薗田哲平・中山健太朗・安里開士・蘇 綾・静谷あてな・河部壮一郎・服部創紀．2024．福井県立恐竜博物館の「化石研究体験」ができるまで．日本古生物学会 2024 年年会予稿集: 40.

【2 件】

⑤その他の公表実績

【0 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

1. 科学研究費補助金（基盤研究（C)）2023–2025「絶滅恐竜類の社会性形成における、鳴き声による種内意思疎通の評価）（分担）
2. 三菱財団自然科学研究助成 2024.「最古の恐竜を求めて：アルゼンチン共和国北西部に分布する中− 上部三畳系チャナレス層の動物相と古環境」（分担）

(3)特許等取得

(4)学会活動等

1. アジア恐竜協会事務局員.

５．地域・社会貢献活動

④企業等での活動
1.　株式会社恐竜総研．恐竜関連のシンクタンク事業．R3.12～現在に至る．
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講
2.　放送大学客員講師. R2.4～現在に至る．
3.　博物館セミナー「福井の獣脚類化石」講師．福井県立恐竜博物館．R6.4.20.
4.　「トクシマ恐竜展 2024」記念講演会「福井県の獣脚類化石」講師. 徳島県立博物館. R6.8.3.
5.　福井の恐竜学最前線「肉食だけじゃない肉食恐竜たち」講師．福井県立大学. R6.9.20.
⑦その他
6.　福井県立恐竜博物館．研究員. R1.4～現在に至る．
7.　福井県勝山市北谷層での恐竜化石発掘調査. R1.7～現在に至る．
8.　福井県立恐竜博物館 2025 年度特別展企画・監修．R5.4～現在に至る．

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

1.　恐竜学部（仮称）設置プロジェクトチーム　R3.11～現在に至る

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など